

岩木川ダム 統管だより

078号
2023年
(令和5年)
10月31日

- ・弘前・白神アップルマラソン
- ・出水対応について
- ・清水バイパス管点検
- ・暴露試験供試体の定期点検
- ・黒石市総合防災訓練
- ・ダムライトアップ中止
- ・白神山地ビジターセンター
ふれあいデー
- ・今月の“つがるの昔っこ”

10月1日(日)に、第21回弘前・白神アップルマラソン(弘前市、西目屋村、市教育委員会、市スポーツ協会、東奥日報などによる組織委員会主催)が、弘前市と西目屋村の特設会場で行われ、県内外から3178名の参加者が集まりました。

津軽ダムのある西目屋村はフルマラソンの折り返し地点となっており、朝9時のスタート時間を過ぎると、そくそくと応援に駆けつける人達で沿道が埋まって行きました。

ランナーが通るたび、大きな拍手が起こったり、ご家族などによる応援の音が響き、温かい雰囲気の大大会となりました。

令和5年度上半期

ダム出水対応について

令和4年は青森県で初めて線状降水帯が発生し、浅瀬石川ダム、津軽ダムが完成してからダムに流れ込む水量が最大を記録するなど大雨の年でした。それでも両ダムとも多くの水量をため込み下流河川の水位上昇を抑え、氾濫被害の防止に努めました。

今年は、昨年と比べると大雨の少なかった年ですが、春先は気温が高く、一気に雪解けが進み、浅瀬石川・津軽ダムとも雪解けによるダムへの流入が例年よりも早く始まりました。今年の出水対応としては、4月7日から始まった降雨により雪解けが進み、洪水が発生する可能性が出てきたため、注意体制、警戒体制をとりました。また、7月は停滞する前線の影響で、長時間激しい雨が降り、注意体制、警戒体制をとりました。

両方のダムとも結果的に洪水調節を行うほどの流入量ではなかったものの、洪水調節が必要となった場合に備えて、気象情報の確認や洪水予測のほか、ダム下流巡視、ゲートの点検などを行い、万全の体制で対応にあたりました。

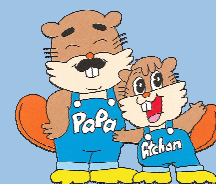
このように、岩木川ダム統管管理事務所では、常日頃より、ダム管理に尽力しております。今年は大雨が少なかったものの、今後も油断することなく対応していきます。4月から9月末までの半年間には下のとおり体制を組んで対応しましたのでご紹介します。



▲浅瀬石川ダム



▲津軽ダム



月	日	時間	体制	備考
4	7	7:20	注意体制	津軽ダム
4	7	12:40	警戒体制	津軽ダム
4	7	15:00	注意体制	浅瀬石川ダム 津軽ダム
4	10	11:40	注意体制解除	浅瀬石川ダム 津軽ダム
4	11	16:40	注意体制	津軽ダム
4	12	13:00	注意体制解除	津軽ダム

注意体制

洪水の発生するおそれがある場合。

警戒体制

気象庁が管内の地域で大雨・土砂災害・暴風の特別警報を発表した場合。
洪水の発生が予測される場合、または流入量が洪水量に達した場合。

非常体制

洪水により重大な被害が発生または発生するおそれがある場合。



清水バイパス管露出部分の点検

9月27日（水）に、津軽ダム清水バイパス管の露出部分の点検を行いました。

普段は水中にある清水バイパス管ですが、貯水位低下の機会を利用して行ったものです。

確認内容として、①漏水がないか、②管全体に異常な変位はないか、③管周辺の地山の崩落や倒木などがいないか等を主眼としています。

確認した結果、倒木が管に覆い被さる寸前のものがあり、撤去することとなりました。

周辺にはクマの足跡がたくさんあり、クマ鈴を鳴らし、注意しながらの点検となりました。



▲清水バイパス点検の様子

長期暴露試験供試体の定期計測

10月3日（火）、4日（水）に津軽ダムの長期暴露試験供試体の定期測定を行いました。

津軽ダムでは、ダムの長寿命化に役立てるため、供用開始後もダム本体コンクリートの健全性を試験・確認することとしています。

試験にあたり、コア採取等深度方向の状況確認を必要とするものについては、ダム本体コンクリートの破損を防ぐため、あらかじめダムコンクリートと同一性状・設置環境にある暴露供試体を用い試験を行うこととしています。

大小2種類の大きさの供試体を用い、大型供試体は外観観察、形状寸法測定と超音波測定を行いました。小型供試体は外観測定、形状寸法測定、質量測定、共鳴振動数、超音波測定を行いました。



▲大型供試体の形状寸法測定の様子

黒石市総合防災訓練に参加

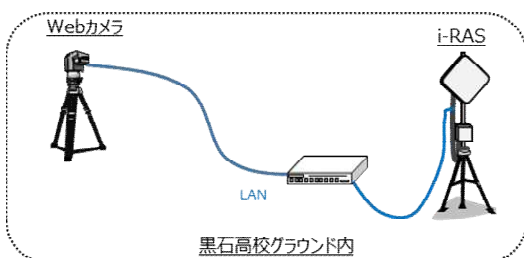
10月15日（日）に青森県立黒石高等学校で行われた黒石市総合防災訓練に参加してきました。

当事務所の展示ブースでは、国土交通省の自治体への災害支援体制として、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）、リエゾン（災害対策現地情報連絡員）、災害対策用機械を整えていることを紹介し、災害対策本部長（統監）である高樋市長へ災害支援体制の説明を実施しました。

また、災害現場からの映像配信等の通信回線確保事例として、通信機器の実運用訓練を実施しました。

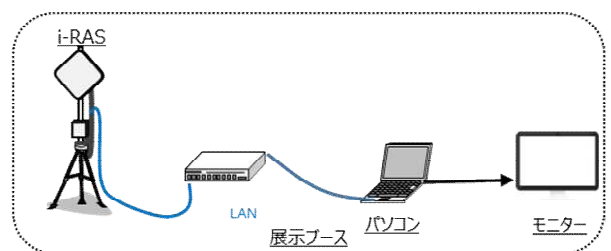


▲高樋市長へ支援体制を説明



実運用訓練

- 特徴
- ・短時間（約30分）で回線を構築可能
 - ・伝送距離は約30km



秋のダムライトアップ 中止について

浅瀬石川ダムは、黒石市の中野もみじ山ライトアップの期間に合わせて、津軽ダムは紅葉がきれいになった頃に合わせて、秋のダムライトアップを計画しておりました。

しかしながら、浅瀬石川ダム、津軽ダム周辺でクマが出没、目撃されていることを鑑み、ライトアップを楽しみに来てくださる皆様の安全を第一に考え、中止することといたしました。

今後は、クリスマスや雪のきれいな季節にライトアップを実施していきたいと考えております。

皆様のご理解の程、よろしくお願いいたします。



白神山 ビジターセンター ふれあいデー

令和5年10月7日(土)8日(日)に白神山ビジターセンター主催の「ふれあいデー」にパネル展で参加しました。

ダムのことをより知っていただくことを目的とし、ダムの効果や四季折々の写真を展示しました。

初日は、あいにくの雨でしたが屋内の催事にはたくさんの方が訪れており、2日目はお天気にも恵まれ大盛況となりました。

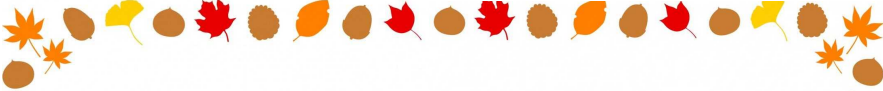
今月の昔っこ (昔話)

岩木川ダム統管理事務所のホームページでは、毎月1話津軽地方に伝わる昔話を標準語・津軽弁の2パターン作成、公開しています。事務所職員が描いた温かみのあるイラストとともに地域に伝わるお話をお楽しみください。

第20作目となる10月のお話は『化け物寺(木魚・鐘・太鼓)』です。怠け者の長男は家を追い出され、見知らぬ村にたどり着く。でも、誰も泊めてはくれない。教えられた宿は、人を食らうという化け物寺。恐怖の一夜に耐えた時、彼の運命が変わる。



編集後記



ダム統管だよりの「昔っこ」は、分業制で作られていて、私はこれらで「昔っこ」を紹介するあらすじ担当です。分業なので孤独感がなく、一緒に何かを作り上げる事はチーム感があって楽しいです。私は、あらすじ担当の二代目ですが、季節が変わるように昨年の途中から引き継いでおります。あらすじを80字くらいで書くのも、担当してみて初めてこの理由が分かりました。

こちらの山も、いつの間にか秋声。赤、黄、緑、橙色と色彩豊かに変わっています。空も高く、いろんな色が日に照らされて、鮮やかに美しく輝きます。また、草紅葉も綺麗です。(工藤)

編集・発行



国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統管理事務所
(浅瀬石川ダム・津軽ダム)

〒036-1422

青森県中津軽郡西目屋村大字居森平
字寒沢138-2

TEL 0172-85-3035

FAX 0172-85-3061



(ホームページ) (Twitter)

岩木川ダム統管理事務所
ホームページアドレス

<https://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>

公式Twitter @mlit_iwakito